



道路を守る人がいる。

**道路について少し、
考えてみませんか**

表紙の道路は、6月某日、雨上がりの晴れ間に撮影した青葉のけやき通りです。特に目立ったごみも落ちていないのは、道路を普段からきれいに使っていたき、清掃も行き届いているおかげではないでしょうか。皆さんが通勤や通学、買い物などで使っている道路はいかがですか。

さて、8月は「道路ふれあい月間」です。今月は少し、道路に想いを寄せてみましょう。

8月10日は「道の日」

道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくため、国は毎年8月を「道路ふれあい月間」とし、道路愛護活動等の推進を図っています。特に、8月10日は「道の日」と制定されています。

なぜ8月10日？

大正9年8月10日、日本で最初の本格的な道路整備の長期計画が策定されました。道路は生活に欠かせないものですが、あまりに身近な存在のため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、道路の意義・重要性に関心をもっていたくため、建設省（現在の国土交通省）は昭和61年に8月10日を「道の日」と制定しました。